

秦野市のごみ処理の現状について

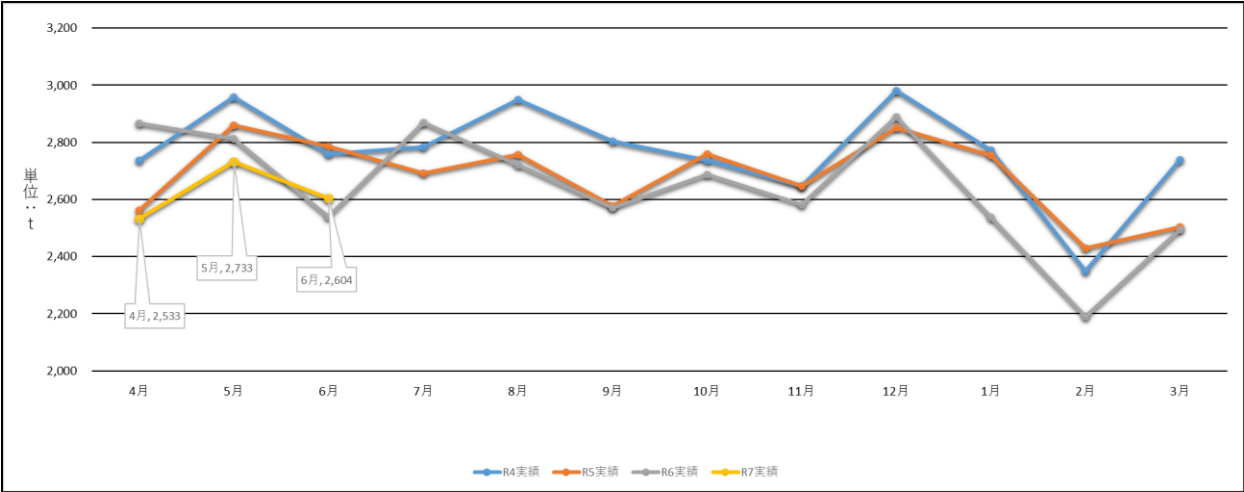
1 ごみ処理の現状（令和 7 年度は 6 月までの実績）

(1) 可燃ごみの量（家庭系及び事業系を含む。）

可燃ごみは年々減少傾向にあり、令和 7 年度も減少となる見込みです。

なお、可燃ごみに不燃・粗大ごみを破砕したときに発生した可燃性の部分及び栗原最終処分場から排出される汚泥を加えた焼却対象量は、ごみ処理基本計画における令和 1 3 年度の本市の計画値（32, 538 トン）を下回っています。（令和 6 年度焼却対象量：32, 046 トン、計画値との比較：－492 トン）

しかし、令和 6 年 4 月から焼却施設がはだのクリーンセンター 1 施設となり、時期によっては炉が停止する期間があり、施設の安定稼働のため、引き続き可燃ごみの減量が必要です。なお、令和 8 年度がごみ処理基本計画の見直し時期となるため、新たな数値目標を設定する予定です。



(単位：t)								
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	
R4 実績	2,736	2,958	2,759	2,784	2,950	2,804	2,736	
R5 実績	2,561	2,859	2,785	2,692	2,756	2,577	2,758	4 月から 6 月の小計
R6 実績	2,867	2,813	2,540	2,869	2,721	2,570	2,688	8,220
R7 実績	2,533	2,733	2,604	－	－	－	－	7,870
	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	前年比	焼却対象量
R4 実績	2,647	2,980	2,772	2,348	2,739	33,213	－	33,742
R5 実績	2,647	2,851	2,754	2,430	2,503	32,173	96.87%	32,686
R6 実績	2,583	2,889	2,536	2,190	2,495	31,761	98.72%	32,046
R7 実績	－	－	－	－	－	7,870	95.74%	－

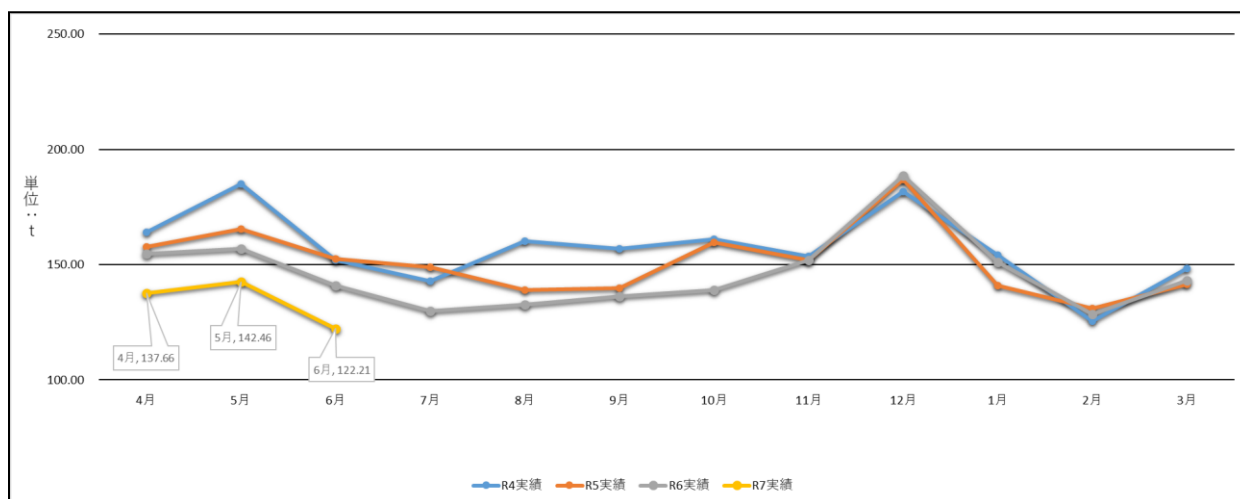
※R7 の前年比は 4 月から 6 月までの実績と R6 の 4 月から 6 月までの実績を比較して算出。

(2) 不燃・粗大ごみの量

不燃・粗大ごみ量は、ご家庭から収集場所へ出されたり、伊勢原清掃工場へ持ち込まれた不燃ごみと、環境資源センターに持ち込まれたり、予約収集で個別に収集した粗大ごみを合わせたものです。

年々減少傾向にあり、令和7年度も減少となる見込みです。

更なる減量のための取組みとして、昨年度公益社団法人シルバー人材センターと協定を締結し、リユース促進事業のもったいないD a yをシルバー人材センターと共催にし、リユース品を市民により安価で提供できるようにし、かつ、リユース品の買取り業者である(株)ECOMMIT とシルバー人材センターとが売買契約を交わし、もったいないD a yで売れ残ったリユース品を買取ってもらうことで、粗大ごみ処分量の減量に取り組んでいます。



(単位：t)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	
R4 実績	164.15	184.89	151.89	142.72	160.13	157.01	160.98	
R5 実績	157.83	165.44	152.53	148.78	139.06	139.84	159.62	4 月から 6 月の小計
R6 実績	154.76	157.01	141.01	129.98	132.68	136.36	139.00	452.78
R7 実績	137.66	142.46	122.21	-	-	-	-	402.33
	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計		前年比
R4 実績	153.70	181.59	154.10	125.48	148.43	1,885.07		-
R5 実績	152.03	187.05	141.03	131.12	141.39	1,815.72		96.32%
R6 実績	151.96	188.66	151.17	128.57	143.00	1,754.16		96.61%
R7 実績	-	-	-	-	-	402.33		88.86%

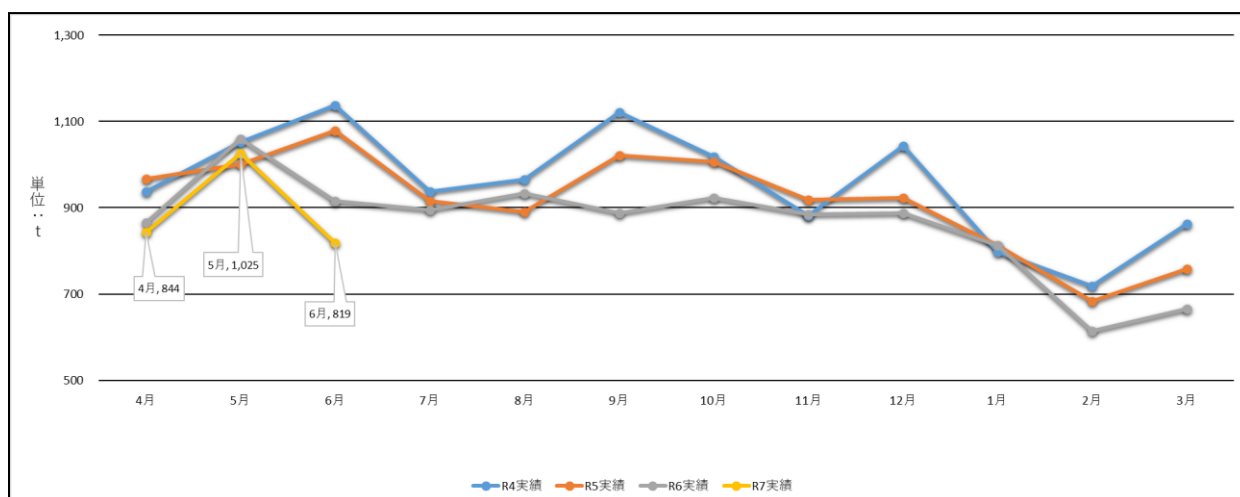
※R7の前年比は4月から6月までの実績とR6の4月から6月までの実績を比較して算出。

(3) 資源物の量

資源物は、古紙類、ビン、カン、衣服・布類、ペットボトル、容器包装プラスチックや草木類などで、ご家庭から収集場所やストックハウスに出されたものです。

なお、令和7年度から実施するプラスチックの一括回収に向けて事業を見直し、令和6年度末でPTAなどによる集団資源回収を廃止しました。

年々減少傾向にあり、令和7年度も減少となる見込みです。



(単位：t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
R4 実績	938	1,052	1,138	938	966	1,121	1,018	
R5 実績	967	1,000	1,078	916	891	1,022	1,006	4月から6月の小計
R6 実績	865	1,059	915	895	933	888	923	2,839
R7 実績	843	1,025	819	-	-	-	-	2,687
	11月	12月	1月	2月	3月	小計	前年比	
R4 実績	881	1,043	798	718	863	11,474	-	
R5 実績	918	923	812	683	758	10,974	95.64%	
R6 実績	884	888	813	614	665	10,342	94.24%	
R7 実績	-	-	-	-	-	2,687	94.65%	

※R7の前年比は4月から6月までの実績とR6の4月から6月までの実績を比較して算出。